





# 小学校社会科




## 学習内容説明書


学習セット・学習プログラムの紹介




学習No.	3-1(P)	学年 単元名	3年【わたしたちの住むまちや市】『わたしたちの住むまち』 (導入)「まちをのぞいて(熊本博物館の紹介)」
タイトル	「博物館って、どんなところ？」		所要時間 1単位時間(45分)
内容	博物館はいったいどのような施設なのか、働いている人の話を聞いて学ぶ。		
活用する資料など	人材派遣による指導・支援		
展開の概略(補足)	<p>私たちのまちにある博物館について、『モノや絵がケースの中に並べてある建物』というイメージはあるが、実際の博物館が“担っていること”は何かなど、そこで働いている人たちの仕事を通して知ってもらおう。</p> <p>スライドや黒板を使って授業形式で進め、適宜グループでの話し合いなども取り入れ、博物館への理解を促す。</p> <p>【保存科学】</p>		


学習No.	3-2(S)	学年 単元名	3年【わたしたちの市と生活のうつりかわり】 (導入)「昔の熊本市」
タイトル	「少し昔の熊本市中心部」		所要時間 25分程度
内容	熊本出身の画家・甲斐青萍が描いた熊本市中心部の町並図や風俗図などを手がかりに、明治～昭和初期にかけての熊本市中心部の様子を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	甲斐青萍画《熊本昭和町並図屏風》、《風俗図》など		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。熊本出身の画家・甲斐青萍が描いた熊本市中心部の町並図や風俗図のほか古写真などを参照し、少し昔の熊本の様子を見ることで熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。</p> <p>2019年に開催した特別展覧会『追憶の熊本-画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶-』の縮小版。</p> <p>【美術工芸】</p>		 <p>甲斐青萍画《熊本昭和町並図屏風》</p>


学習No.	3-3(S)	学年 単元名	3年【わたしたちの市と生活のうつりかわり】 「くらしのうつりかわり年表」「熊本博物館って…？」
タイトル	「明かりの歴史」		所要時間 20分程度
内容	道具の移り変わりを通して、生活の変化を学ぶ。ここでは特に明かりの変遷から歴史を学ぶ。		
活用する資料など	ろうそく、ちょうちん、あんどん、火打石など		
展開の概略(補足)	<p>暮らしに必要な明かりの変遷について、その道具と火付け道具を実際に見たり、体験したりしながら学び、先人の知恵と現在の暮らしについて考える。</p> <p>【民俗】</p>		
			



学習No.	4-1(S)	学 年 単元名	4年【自然災害から人々を守る】 「熊本の水害」その他
タイトル	「熊本と自然災害の歴史」学習セット		所要時間 15～25分程度
内 容	熊本で起こった歴史的な自然災害について代表的なものを紹介し、地震・水害などの自然災害への備えを意識してもらうための動機付けとする。		
活用する資料など	昭和28年白川水害写真アルバム、平成28年熊本地震写真など		
展開の概略(補足)	熊本で起こった地震など、自然災害の歴史について紹介する。 熊本博物館で所蔵している自然災害関連資料についても写真などで紹介。【歴史】		 <p>明治22年 熊本地震関係資料</p>




学習No.	4-2(P)	学 年 単元名	4年【わたしたちのまちの文化財や年中行事】 (学習のまとめ)「地域に残る年中行事」
タイトル	地域に残る行事と新たな行事		所要時間 1単位時間(45分)
内 容	市内に残る行事の紹介、各家庭の行事や新しい行事を通して暮らしの不思議、他者(他文化)への理解と共感を促す。		
活用する資料など	映像・画像・資料など		
展開の概略(補足)	熊本で行われている伝統的な行事を実例を踏まえながら紹介する。次に学校での行事、マイルールを発見・共有。それから、各家庭での行事、マイルールを発見・共有する。 行事には少なくとも個人的・集団的・地域的なものがあること、行事というものがなぜ設定されるのかを問いかね、自分たちの暮らしが重層的に成立していること、その中に多様な価値観や文化を持っている人がいること、そうした多様なあり方を尊重するとはどういうことか考える機会とする。【民俗】		


学習No.	4-3(S)	学 年 単元名	4年【県内の特色ある地いきのようす】 「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域」
タイトル	「肥後のやきもの」		所要時間 25分程度
内 容	江戸時代以降、熊本で生産されたやきものを紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	小代焼、八代焼、網田焼など		
展開の概略(補足)	パワーポイントによる解説を中心とする。加藤氏や細川氏の入国によって肥後の各地域に根付いたやきものの歴史や特徴について説明する。 現在は廃窯になっている産地も多く、現在ではあまり知られていない熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。  【美術工芸】		 <p>八代焼(上野東四郎作)《灰釉獅子香炉》</p>


学習No.	4-4(S)	学 年 単元名	4年【県内の特色ある地いきのようす】 「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域」
タイトル	「肥後の刀剣」		所要時間 25分程度
内 容	熊本で生産された刀剣類を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	延寿派や同田貫派の刀剣類		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。菊池氏と繋がりの深い延寿派や肥後藩の庇護を受けた同田貫派など、熊本ゆかりの刀剣類を説明する。希望があれば実物資料(未研磨)を鑑賞する時間を設ける。</p> <p>現在ではあまり馴染みのない刀剣を知ることによって、熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。</p> <p>【美術工芸】</p>		 <p>刀(銘:肥後同田貫宗広/嘉永三年三月日)</p>


学習No.	4-5(S)	学 年 題材名	4年【県内の特色ある地いきのようす】 (昔のよさを未来に伝えるまちづくり)
タイトル	「未来に伝えたい熊本のよさ」学習セット		所要時間 15～30分程度
内 容	熊本の史跡や文化財を活かしたまちづくり、熊本市の文化財について考える。また、身近な文化財(石碑、標柱、古いモノなど)の調べ方などにもふれる。		
活用する資料など	『角川日本地名大百科事典 熊本』、熊本市観光ガイドHPほか		
展開の概略(補足)	<p>熊本城など、近年外国人観光客が増加している市内観光名所のほか、身近に残る文化財の調べ方などについて紹介。</p> <p>熊本の「よさ」について考える機会としたい。</p> <p>【歴史・美術工芸】</p>		 <p>霊台橋(美里町)</p>



学習No.	5-1(S)	学年 単元名	5年【国土の自然とともに生きる】『自然災害とともに…』 「さまざまな自然災害から暮らしを守るために」	
タイトル	「熊本の災害史」学習セット		所要時間	25分程度
内容	熊本の地で起こった主な自然災害について紹介。寛永の大地震、寛政大津波、白川水害などにふれ、平成28年熊本地震で高まった自然災害への防災意識向上につなげたい。			
活用する資料など	「熊本城絵図」、「熊本城下絵地図」、昭和28年白川水害関係写真など			
展開の概略(補足)	PC、プロジェクター持ち込みによる講話形式。 本丸御殿と花畑屋敷の関係性を絵地図で説明(寛永地震の影響)。島原雲仙の噴火と寛政大津波の発生、熊本市沿岸部での被害について説明。 写真資料が残る白川水害なども合わせて紹介し、熊本市がたどった自然災害罹災の歴史を振り返る。【歴史】		 熊本城真景図   水害スケッチ	


学習No.	5-2(P)	学年 単元名	5年【国土の自然とともに生きる】『森林とともに生きる』 「木を植えて育てる人々」「森林を守り続ける…」ほか	
タイトル	山の思考・里の思考		所要時間	1単位時間(45分)
内容	林業衰退以前と以後を比べ、生活様式の変化を踏まえながら説明する。また、現況の林業界の取組を紹介するとともに、林業などを通して現在とは異なる文化的思想が見られることについてもふれる。			
活用する資料など	焼畑用具、林業関係用具、画像など			
展開の概略(補足)	木とともに暮らす山の暮らしを取り上げ、そこでの山の利用や木の利用を通して前時代の暮らしやその特徴的な考え方について解説する。20年から30年を要して育てる林業は、自分の代の事ではなく次世代のことを考える未来志向の産業であり、そうした現在の社会とは逆行するような労働について学ぶことにより、現在の暮らしを相対化する。 【民俗】		  	



学習No.	6-1(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『国づくりへの歩み』 「大昔の暮らしをさぐる」
タイトル	「縄文」学習プログラム(土器・石器・土偶など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(三内丸山遺跡など)だけでなく、地元の遺跡から出土した遺物(実物)に触れることで、熊本市内にも貝塚など縄文時代の遺跡が数多く存在することを学ぶ。また、道具の使い方を予想し、縄文時代の人々の暮らしについて興味・関心を抱かせたい。		
活用する資料など	縄文土器・打製石鏃・打製石斧・磨製石斧・獣骨(イノシシ・シカ)・貝製品・土偶など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるためグループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な遺跡を素材として準備したい(校区の範囲など、事前の打ち合わせ必要)。 例:縄文時代の遺跡としては、市内でも台地上の遺跡(上南部遺跡)や、縄文海進時には海に面していた低地の遺跡(阿高貝塚・沼山津貝塚)など。		
【考古】			




学習No.	6-2(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『国づくりへの歩み』 「米づくりが始まる」
タイトル	「弥生」学習プログラム(土器・石器・青銅器など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(板付遺跡など)だけでなく、地元の遺跡から出土した遺物(実物)に触れることで、熊本市内の遺跡からも「石庖丁」など弥生時代の遺物が出土することを学ぶ。また、道具の使い方を予想し、弥生時代の人々の暮らしについて興味・関心を抱かせたい。		
活用する資料など	大型甕棺の写真、弥生土器・石庖丁・磨製石鏃・青銅器・鉄器など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるためグループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な遺跡を素材として準備したい(校区の範囲など、事前の打ち合わせ必要)。 例:弥生時代の遺跡としては、市内で最も早く稲作を開始したと考えられる江津湖遺跡群や、市内各地(神水・花園・黒髪など)発見の甕棺墓など。		
【考古】			



学習No.	6-3(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『国づくりへの歩み』 「古墳をつくった人々」
タイトル	「古墳」学習プログラム(鏡・石棺・馬具・装身具など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(大仙古墳など)だけでなく、熊本に分布が集中する装飾古墳などについて紹介し、熊本市内にも国史跡千金甲古墳群をはじめ、多くの古墳が存在することを学ぶ。また、鏡・馬具・装身具などの豪華な副葬品等も紹介し、古墳への興味・関心を抱かせたい。		
活用する資料など	装飾古墳(千金甲古墳1号墳)や家形石棺の写真、須恵器・鏡・馬具・武器・装身具など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるためグループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な古墳を素材として準備したい(校区の範囲など、事前の打ち合わせ必要)。 例:古墳時代の遺跡としては、市内でも千金甲古墳(小島)、釜尾古墳(北部町)、稻荷山古墳(清水町)、つじヶ丘横穴群(黒髪)など。		
【考古】			


学習No.	6-4(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『大陸に学んだ国づくり』 「聖武天皇と大仏づくり」
タイトル	「肥後国分寺」学習プログラム(土器・瓦など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	奈良時代には全国に国分寺が造営され、熊本市内にも当時は肥後国分寺をはじめ古代寺院が存在し、すでに仏教が広まっていたことを学習する。また出土遺物(土器・瓦など)の実物に触れて、瓦の文様(蓮華花など)についても学び、古代寺院への興味・関心を持ってもらう。		
活用する資料など	古代寺院の想定写真、肥後国分寺跡出土の軒丸瓦・軒平瓦、渡鹿廃寺出土の鬼瓦など		
展開の概略(補足)	<p>遺物(実物)を見せるため、グループ学習(6班程度)が望ましい。授業を行う小・中学校の場所にできるだけ近い、身近な遺跡を素材として準備したい(校区の範囲等、事前打ち合わせ必要)。 例: 奈良時代の遺跡としては、市内でも肥後国分寺跡(出水)、国分尼寺跡(水前寺)、大江遺跡群(大江・渡鹿)、二本木遺跡群(二本木)などがある。【考古】</p>		 

学習No.	6-5(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『室町文化と力をつける人々』 「簡素で静かな美しさ」
タイトル	「肥後の絵画—雪舟流を受け継いだ矢野派—」		所要時間 25分程度
内容	室町時代に活躍した雪舟の流れを汲むとされる肥後藩のお抱え絵師の一派・矢野派を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	矢野派の絵画作品・系図		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説を中心とする。 江戸時代、肥後藩のお抱え絵師の一派として活動した矢野派の絵師による作品を説明する。 室町時代の雪舟らの表現がどのように受け継がれているかを考えることによって、熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。【美術工芸】</p>		 <p>角田二花山筆《鍾馗図》</p>



学習No.	6-6(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『全国統一への動き』 「全国を統一した豊臣秀吉」
タイトル	「豊臣秀吉と加藤清正」学習プログラム		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書で取り上げられる戦国時代において、熊本はどのような歴史を辿っていたのか紹介する。秀吉の天下統一と清正の肥後入国について説明し、それが熊本にとってどのような意味を持ったのか考える。		
活用する資料など	「隈本古絵図」、清正/各種肖像スライド、宇土櫓ミニ模型など		
展開の概略(補足)	<p>PCとプロジェクター、一部資料持ち込みによる講話形式を想定。戦国時代における九州諸勢力と肥後国衆(豪族)の動向について説明。博物館が所蔵する資料を紹介し、全国史と地方史の関係について理解を深めさせたい。 秀吉の「刀狩令」の持つ意味についても説明。 加藤清正が熊本へ来た意味、清正の治績を通して地域史への興味・関心を高める。【歴史】</p>		  <p>宇土櫓模型</p> <p>加藤清正像</p>

学習No.	6-7(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『全国統一への動き・幕府の政治…』 「江戸幕府を開いた徳川家康」「江戸幕府と大名」
タイトル	「熊本城出土品」学習プログラム(瓦・陶磁器など)		所要時間 1単位時間(45分)
内容	教科書の写真(江戸城など)だけでなく、地元:熊本のシンボルともいえる熊本城について学習する。特別史跡熊本城跡の中ではこれまで何度も発掘調査が行われており、瓦や陶磁器など多くの出土品が存在する。実物に触れることで、熊本城への興味・関心を抱かせたい。		
活用する資料など	熊本城の写真、熊本城跡出土の江戸時代～明治時代の瓦・陶磁器・木材・鉄製品など		
展開の概略(補足)	遺物(実物)を見せるため、グループ学習(6班程度)が望ましい。【考古】		
			

学習No.	6-8(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『新しい文化と学問』 「都市のにぎわいと人々の楽しみ」その他
タイトル	「江戸時代の熊本」学習セット		所要時間 25分程度
内容	江戸時代の熊本城下町では人々がどのように暮らしていたのか、博物館資料を交えて紹介する。城下の様子と現在の比較、江戸時代の「学び」や「旅」の様子など。		
活用する資料など	「熊本城下絵地図」「藩札」「西国道中記」「江戸時代の領収証」など		
展開の概略(補足)	<p>「熊本城下絵地図」の説明と現在の熊本市街地との比較。「城下にはどんな人が暮らしていた?」  「人々はどのような生活をしていた?」  ⇒ 江戸時代の人々はどのように学問をしていた?  ⇒ 「西国道中記」を見てみよう  ⇒ 古写真で見る新町付近と現在の様子</p> <p style="text-align: right;">【歴史】</p>		
			明治初期新三丁目橋
			西国道中記

学習No.	6-9(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『新しい文化と学問』 「都市の…人々の楽しみ」「活気あふれる町人の文化」
タイトル	「熊本発! 超絶技巧一人生人形の世界」		所要時間 25分程度
内容	熊本出身の人形師が火付け役となり、幕末に江戸や大坂といった大都市を中心に流行した生人形を紹介し、郷土の文化への理解を深める。		
活用する資料など	江島栄次郎「清正公一代記」		
展開の概略(補足)	<p>パワーポイントによる解説のみ。熊本出身の人形師・松本喜三郎や安本亀八らによる「生人形」が江戸や大坂で流行した背景を説明する。  フィギュアや模型に通じる生人形の魅力を考えることによって、熊本の文化の一端を学ぶきっかけとする。【美術工芸】</p>		
			江島栄次郎作 《賊僧》



学習No.	6-10(S)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『明治の新しい国づくり』 「新しい世の中へ」「人々の暮らしが変わった」その他	
タイトル	「熊本と明治の新しい世」学習セット		所要時間	25分程度
内容	明治となり、日本は「西洋化」を伴った急速な変化を遂げていく。このとき、熊本ではどのような変化を迎えたのか、参考資料を交えて紹介する。			
活用する資料など	「訓導小学校教導之図」、「熊本新聞」、神風連「錦絵」など			
展開の概略(補足)	<p>「洋食」文化などを一つの手がかりに、江戸時代から明治時代への変化を確認する。</p> <p>⇒ 西洋文化の受容</p> <p>⇒ 明治の新聞</p> <p>⇒ 町の変化と現在の熊本とのつながり</p> <p style="text-align: right;">【歴史】</p>		 <p>甲斐青萍筆 明治風俗画</p>	 <p>忠愛新報 (明治25年)</p>

学習No.	6-11(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『明治の新しい国づくり・近代国家をめざして』 「新政府による国づくりの始まり」「産業の発展と…」その他	
タイトル	労働自由の光と闇		所要時間	1単位時間(45分)
内容	就労制限が法律上無くなった明治時代。その中で発展した仕事、一方で零落した仕事、生きる術を見つけた人、生きる術を失った人、様々な人たちがいる。それらについて紹介し、職業とは何か、働くとは何かを考える。			
活用する資料など	画像、資料、映像など			
展開の概略(補足)	<p>自由化：職業選択の自由について歴史的な経緯を説明。その効果の実例として、以下のものを取り上げる。</p> <p>→ 盲人の音楽離職、士族の没落、商人の活躍、新たな職業や商品の発展</p> <p>今は自由に職業が選べる時代であるが、明治以前は違ったこと。また、職業が選べるようになった後の人たちや業種を取り上げて紹介し、自分自身が将来の仕事を考える上での参考に供したい。【民俗】</p>			

学習No.	6-12(P)	学年 単元名	6年【日本の歴史】『近代国家を目指して』 「暮らしと社会の変化」(発展学習)その他	
タイトル	外国人から見た日本(熊本)の発展		所要時間	1単位時間(45分)
内容	ラフカディオ・ハーンを中心に、明治時代の熊本に来た外国人から見た熊本の発展について紹介する。			
活用する資料など	書籍・画像など			
展開の概略(補足)	<p>ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は明治20年代の熊本で3年を過ごし、その際のエピソードを手紙や作品で遺している。</p> <p>そうしたハーンのエピソードを起点に、熊本の発展と変化について紹介する。また、他の外国人の見た熊本についても紹介。【民俗】</p>			